公益財団法人豊田市文化振興財団

第７期　令和６年度　第１回青少年育成委員会

日時　令和６年５月２６日（日）午後２時から
会場　豊田市青少年センター　交流室

次　　第

１　委嘱状授与

２　主催者あいさつ

３　委員・オブザーバー・事務局紹介

４　議題
（１）令和５年度　事業報告について
（２）令和６年度　事業計画について
（３）令和６年度　モニタリング事業について
（４）令和６年度　青少年表彰について
（５）委員会会議録の公開について
・令和６年度の委員会から、会議録を財団の情報公開規則及び情報公開要項に準じてホームページ上で公開する。
・市民等に不利益となる情報や業務の適正な遂行に支障をきたす内容は、公開しない内容も有りうるものとする。
・委員等の個人名は公開しない。（議事中の発言等）

５　その他
（１）令和６年度第２回青少年育成委員会の日程について
【候補日・時間】　９月２１日（土）　午前１０時／午後２時
９月２２日（日）　午前１０時／午後２時
１０月　５日（土）　午前１０時／午後２時
会場／青少年センター
内容／後期モニタリング事業・令和７年度事業計画（案）など
（２）施設からの諸連絡等

【目次】

議題（１）令和５年度　事業報告について……別冊

議題（２）令和６年度　事業計画について……別冊

議題（３）令和６年度　モニタリング事業について……別冊

議題（４）令和６年度　青少年表彰について……別冊

議題（５）委員会会議録の公開について……資料なし

公益財団法人豊田市文化振興財団　第７期　青少年育成委員会

令和６年５月２６日現在

【委員】

区分	氏　　名	役職・所属	備考
学識経験者	大村　惠	愛知教育大学 特別教授	
	佐藤　義則	豊田市教育研究会 理科部会長	
	福田　猛	豊田市青少年健全育成推進協議会 副会長	
市民代表	田浦　武英	豊田市子ども会育成連絡協議会 上部役員	
	斉藤　茂美	ボーイスカウト豊田地区協議会 地区委員長	
	守随　純子	ガールスカウト豊田地区連絡会	**新任**
	尾園　政輝	登録青少年サークル「KARAmin's」代表	
	野畑　清敬	愛知県キャンプ協会　理事	

（委員８名／任期：令和７年３月まで）

【オブザーバー】

杉山　基明	公益財団法人豊田市文化振興財団 副理事長	
藤本　聡	公益財団法人豊田市文化振興財団 専務理事	
宇佐美 由紀	豊田市こども・若者部　こども・若者政策課 課長	
近藤　雅雄	豊田市生涯活躍部　ものづくりサポートセンター　所長	

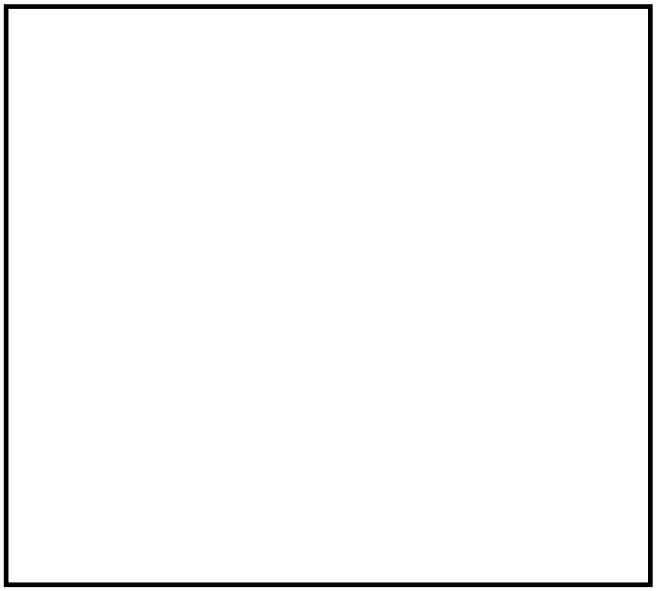
【事務局】

猿谷　直記	公益財団法人豊田市文化振興財団青少年部長	
荘田　元宣	青少年センター　　所長	**新任**
松浦　友洋	〃　　副所長	**新任**
山中　浩之	総合野外センター　所長	
山村　聡志	〃　　副所長	**新任**
加登　志保	〃　　係長	**新任**
永坂　正和	産業文化センター　所長	**新任**
中根　史義	〃　　副所長	
水野　路子	〃　　係長	

【着座表】

委員長　大村　惠

副委員長　斉藤茂美



委員　佐藤義則

委員　福田　猛

委員　田浦武英

委員　守随純子

委員　尾園政輝

委員　野畑清敬

オブザーバー

副理事長　杉山基明

専務理事　藤本　聡

こども・若者政策課長　宇佐美由紀

ものづくりサポートセンター所長　近藤雅雄

【欠席】

（敬称略）

事務局

青少年部長　猿谷直記

青少年センター　所長　荘田元宣　副所長　松浦友洋

総合野外センター　所長　山中浩之　副所長　山村聡志　係長　加登志保

産業文化センター　所長　永坂正和　副所長　中根史義　係長　水野路子

議題１

公益財団法人豊田市文化振興財団

令和５年度　事業報告書（青少年部抜粋版）

１　総括

（１）青少年の健全な育成の推進

ア　「第３次公益経営戦略ビジョン」の重点取組施策である「育成段階に応じた事業展開」、「多様な主体との共働の推進」及び「活躍機会の提供」を推進し、青少年の健全育成に取り組みました。

　また、ＳＤＧｓの目標達成に向けて豊田市と連携した活動に取り組みました。

　更に、これまでの経験や実績を生かして、新型コロナウイルス感染症の５類変更後も感染拡大防止対策に柔軟に対応し、安全安心な施設運営と慎重な事業展開を図りました。

イ　青少年センターでは、事業再構築２年目にあたり、「若者の社会参加の促進」、「若者の自立支援」、「居場所づくり」及び「情報発信」を４本柱として推進し、事業成果の更なる上積みを図り、意欲ある若者の育成に努めました。

ウ　総合野外センターでは、自然環境の中での野外活動を通し、体験、学び、気づきの機会と場を提供して、青少年の健全な育成と指導者の技量向上支援に努めました。そのために山遊び初心者から冒険少年まで、それぞれの“わくわく”を満たす事業を実施しました。

エ　産業文化センター（とよた科学体験館）では、誰もが新しい発見と驚きに出会い、日常の中の科学を楽しめる「科学を文化として楽しもうプロジェクト」事業を推進しました。また、今後の大規模改修工事について、市と連携を密にして、市民や関係者にとってよりよい施設運営につながるよう具体的な計画の検討を進めました。

２　事業報告

（１）青少年育成施設等を活用して、青少年の社会性と豊かな情操を養う機会と場を提供する事業（定款第４条第５号事業）

　子どもたちを取り巻く社会環境が大きく変化する中、青少年の健全な育成を図るためには、家庭、学校及び地域社会が連携を密にし、子どもたちの自立と社会参加を促す努力を重ねることが求められています。青少年育成施設等を活用して青少年の健やかな成長を育むため、様々な体験活動を実施し、あわせて自立支援・相談体制を強化し、青少年の社会性と豊かな情操を養う機会と場を提供しました。

●青少年の健全育成を図るための機会の提供を行う事業

事業数　５７事業

社会参加バンク、活動支援事業、社会問題支援事業、種まき事業、若者によるまちづくり提案事業、サークル・グループ文化祭　ほか（青少年センター）

六所山で泊まろう、親子自然体験塾、家族で六所山 day、保護者のための野外活動体験会、小中学校等野外活動直接指導　ほか（総合野外センター）
フィーチャリングプラネタリウム、サイエンスセミナー、自然科学体験教室、レッツ・エンジョイ・サイエンス　ほか（産業文化センター）

（２）青少年音楽団体の運営及び青少年団体に対する助言その他の支援を行う事業（定款第４条第６号事業）

青少年の健やかな成長を育むため、豊田市青少年音楽３団体、子ども会、ボーイスカウト、ガールスカウトなどの青少年団体の運営を側面的に支援し、活動の活性化をサポートしました。

●青少年団体の育成支援を行う事業

事業数　３事業

豊田市青少年団体傷害互助会事業（青少年センター）
レクリエーション団体指導者派遣（青少年センター）
子ども会事務支援（青少年センター）

３　会議

青少年育成委員会

名　称	期　日	会　場	内　　容
第１回 青少年育成 委員会	５月２０日	青少年センター 会議室Ａ	令和４年度事業報告について 令和５年度事業計画について 令和５年度モニタリング事業について 令和５年度青少年表彰について
第２回 青少年育成 委員会	９月１６日		令和５年度モニタリング事業評価（前期分）について 令和５年度モニタリング事業（後期分）について
第３回 青少年育成 委員会	２月１８日		令和５年度モニタリング事業評価（後期分）について 令和６年度青少年部事業計画（案）について

４　令和５年度事業報告の附属明細書
【青少年センター】

コロナ禍が続き積極的な活動が制限される中、若者によるボランティア及び地域活動への参加促進を行政機関、学校教育機関及び市民団体と連携して実施しました。

更に、先進的な取組を展開する民間事業者と積極的に連携し、若者の課題解決、体験活動の充実、創造の実現など経験値の向上を目指しました。

事業実施に当たり随所に SDG s の目標達成を意識した取組を織り交ぜるとともに、専門家・市民代表など有識者による青少年育成委員会の評価にスピード感をもって事業の改善向上に反映し、青少年の健全育成を推進しました。

（１）事業

【若者の社会参加の促進】

「高校生ボランティアスクール」、「若者によるまちづくり提案事業」、「若者活動支援事業」、「サークル・グループ文化祭」など、意欲のある若者がより一層社会と関わるための支援を行いました。あわせて「種まき事業」、「学生交流塾」など、若者の社会参加デビューを後押しする事業を実施しました。

【若者の自立支援】

教育格差による貧困の連鎖解消を目指す学習支援「若者未来塾（若者・外国人未来応援事業」を愛知県教育委員会と連携して継続実施しました。また、「若者社会問題支援事業」では、婚活やキャリア教育など若者の社会的自立の支援、「若者活動支援事業」では、活動の発表機会や会場の提供などの支援をしました。

【居場所づくり】

「学習・卓球等若者開放事業」では、個人単位での自主学習、自主練習、親睦など若者のニーズと施設の空きスペースの有効利用と相乗効果を図りました。

【情報発信】

ボランティアの募集や各種イベント、事業など、若者に有益な情報に特化した内容を SNS、メールマガジン及びホームページを使って配信しました。

（２）施設運営

危機管理マニュアルに基づいた各種訓練の実施、利用者懇談会・施設利用アンケートの実施により、青少年及び市民の安全・安心・快適な利用を促進するとともに、産業文化センター内での施設相互利用を含め、効率的な管理運営でサービスの向上に努めました。

また、事故は起きるという前提で危機管理意識を持ち、平時において異常の早期発見・早期対処など予防保全に努めるとともに、日常の改善を積み重ね安定的で使い易い施設運営を目指しました。

更に、職員の専門分野の知識・能力、経営感覚の向上を目指し、積極的な研修

参加や先進地視察など外部からの見識を得ることで業務能力の拡充を推進しました。

（3）事業一覧

※事業区分について：自主－当財団独自の事業、共催－豊田市との共催事業、
受託－豊田市から委託を受けて実施する事業

【青少年育成施設等を活用して、青少年の社会性と豊かな情操を養う機会と場を提供する事業】

事　業　名	期 日	人　数	内　容		事業区分
【居場所づくり】 種まき事業	１１月１８日 １２月２日 1月１４日	延べ ５６人	仲間づくり等若者に関する様々な講座・イベントを開催し、青少年センターを活動拠点としてPRした(蜜蝋キャンドルをつくろう・パーソナルカラー診断・だしと和食の料理教室)。	講座、セミナー、育成	共催
【社会参加】 サークル・グループ文化祭	1月２１日	延べ ２，６０９人	青少年団体で組織する実行委員会が企画運営し、日頃の活動を広く市民へＰＲし、新規団体及び新メンバーの獲得につなげる機会とする。また、近隣大学・高校等の若者に広く参加を呼びかけ、利用促進の機会とした。	体験活動等	共催
【社会参加】 若者によるまちづくり提案事業「WAKATTE」	5月～2月	延べ ３１１人	豊田市の活性化や魅力発信に関する事業等の提案を募集した。審査を行い、1 組の提案を採択した。	体験活動等	共催
【社会参加】 学生によるまちづくり提案事業	6月～2月	延べ ５９３人	学生を対象にまちづくりに関する考え方や手法を学び、企画から実現まで一貫して行う講座を実施した。	講座、セミナー、育成	共催
【社会参加】 高校生ボランティアスクール	5月～3月	延べ ６０８人	西三北地区公立高校及び市内私立高校と連携し、高校生がボランティア活動を行う機会を創出した。主に保育、福祉、図書館活動及び公共イベントに参加した。	講座、セミナー、育成	共催
【社会参加】 インターンシップ事業	夏期・春期	延べ ６７人	豊田市及び近郊の高校・大学と連携し、社会教育学習のサポートを行った。	体験活動等	自主
【自立支援】 若者未来塾（若者・外国人未来応援事業）	通年 毎週水金曜 隔週土曜	延べ ３７６人	学力格差による貧困の解消につなげるため、学習支援を実施した。愛知県の委託事業(若者・外国人未来応援事業）と自主事業を組み合わせて実施した。	講座、セミナー、育成	受託

【社会参加】 若者倶楽部	通年	延べ ３６８人	まちづくり等社会参加型事業の担い手として活躍する若者の集合体を形成した。	講座、セミナー、育成	共催
【社会参加】 学生交流塾	通年	延べ １８８人	学校や学年の垣根を越えて集い、柔軟な発想と軽快なフットワークとチームワークで「まちづくり」、「ボランティア」、「企業コラボ」等の活動を展開する学生集団を形成した。	体験活動等	共催
【社会参加】 社会参加バンク	通年	延べ ５人	ボランティアや地域イベントのお手伝い等を希望する若者と若者の力を求める団体をつなぎ、若者の社会参加を促進した(登録者 213 人)。	体験活動等	共催
【社会参加】 活動支援事業	通年	延べ ６７０人	青少年団体、若者グループ、高校・大学のゼミ活動・クラブ活動等、自主表現機会の促進に向けた支援をした。	体験活動等	共催
【自立支援】 社会問題支援事業	通年	延べ １４４人	婚活やキャリア教育等若者の社会的課題の解決を図り、自立を促す事業を実施した。	講座、セミナー、育成	共催
【居場所づくり】 学習・卓球等若者開放事業	通年	延べ １０，５２３人	青少年に居場所を提供した。空き室を自主学習や音楽・ダンス・演劇等の自主練習、仲間同士の親睦の場として活用するほか、定期的に卓球器具の貸出し（卓球開放）を行い憩いの機会を提供した。	施設の貸与	受託
【情報発信】 とよた若者応援ネット『プラス』	通年	―	個人登録者の登録データとメールマガジン、エックス(旧ツイッター)を活用し、イベント情報、ボランティア情報、婚活情報等、青少年に有益な情報の配信を実施した。	その他	共催

【青少年音楽団体の運営及び青少年団体に対する助言その他の支援を行う事業】

事　業　名	期 日	人　数	内　　容		事業区分
令和５年度豊田市文化振興財団大会（青少年表彰）	６月４日	―	青少年健全育成において優れた業績をあげた団体及び功労者を称え表彰を行った。	その他	自主

豊田市青少年団体 傷害互助会事業	通年	―	豊田市内の青少年団体の活動を支援するための互助会組織。団体活動中に不慮の事故に遭いけがを負った場合の傷害見舞金の支給や、被保険者の過失による活動中の死傷事故及び第三者の財物の損害に対する賠償保険金の支給事業を実施した（１２件）。	その他	自主
レクリエーション 団体指導者派遣	通年	―	レクリエーション指導者団体の情報交換（定例会）を行うとともに、子ども会等へ指導者を派遣し活動支援を行った。また青少年サークルを交流館事業に派遣した。	相談･助言	共催
子ども会事務支援	通年	―	豊田市子ども会育成連絡協議会の事務局として運営を支援し、子ども会活動の活性化に寄与した。	相談･助言	受託

合　計

事　業　総　合　計	１８事業	１６，５１８人	

（４）利用実績

青少年センター

施　　設　　名	件　数(件)	人　数(人)	利　用　内　容
会議室・音楽室・軽運動室 等	７，４８１	７０，５９９	会議・研修・バンド練習・ダンス 等

その他

施　　設　　名	件　数(件)	人　数(人)	利　用　内　容
ロビー・若者ルーム 等	―	２７，３６４	たまり場等

総合計

総　　合　　計	７，４８１件	９７，９６３人	

【総合野外センター】

六所山とその周辺の自然環境の中で、キャンプ、ハイキングそして自然観察などの野外活動を通し、体験、学び、気づきの機会と場を提供して、青少年の健全な育成と指導者の技量向上支援に努めました。

新型コロナウイルス感染症に対応した野外活動と宿泊を伴う生活のあり方を提案実践し、安心と達成感のある施設利用を提供しました。

（１）事業

この施設の活動に精通した職員による事前打合せや直接指導を通して、教育課程に基づく小中学校の利用や、こども園、子ども会等の利用に込めた目的の達成を支援しました。

野外活動を通して自然環境と向き合うことで、それを理解して「自然との共生」の大切さを感じる体験と、そこにある困難に仲間と協力して対処し「生きる力」を身に付ける体験を実施しました。山遊び初心者から冒険少年まで、それぞれの“わくわく”を満たす事業展開をしました。

（２）施設運営

熱中症、感染症といった近年高まった不安要素と従来からある野外活動の危険要素により、施設利用をためらうケースが増加している時勢に、これらのマイナス要因への適切な対処を提案し、安心して施設を利用できる環境を整えました。

自然災害、老朽化及び利用障害に対応した施設設備の営繕や保全作業に努め、安全で快適な施設利用を担保して、利用者の活動目的達成に貢献しました。

子ども、大人、障がいのある方、外国から来られた方等、多様な人が安心して楽しく利用できる施設であるよう取り組みました。

豊田市をはじめ関連する主体との連携を密にし、“安全”、“安心”な野外活動施設を提供しました。また、これら関連主体や利用団体の意見を取り入れ、負担が少なく、より効果的な活動プログラムの開発・提案と、施設の更なる有効活用を進めました。

（３）事業一覧

※事業区分について：自主－当財団独自の事業、共催－豊田市との共催事業、
受託－豊田市から委託を受けて実施する事業

【青少年育成施設等を活用して、青少年の社会性と豊かな情操を養う機会と場を提供する事業】

事　業　名	期 日	人　数	内　　容		事業区分
たっぷり六所山	8月１８日 ～２０日	２３人	小学校中学年から中学生に向けた２泊３日の自然体験事業。シャワークライミングなどを実施した。	体験活動等	共催

六所山で泊まろう	5月２７日 ～２８日 9月１６日 ～１７日	３５人 ３４人	小学校中学年から中学生に向けた、日帰り事業からのステップアップとなる宿泊事業。9月は事前研修を受けたキャンプスタッフが主体となり事業を運営した。	体験活動等	共催
ファミリーキャンプ	5月3．4．5．6日 8月１２日 ～１３日 9月9日 ～１０日 １０月２８日 ～２９日	１４８人 ３２人 ３３人 ３５人	家族向けの施設開放事業として、フリーキャンプの場を提供し、天体観察なども行った。	体験活動等	共催
六所山デイキャンプ	6月２５日 １１月5日	２５人 １７人	小学校中学年から中学生を対象とした、キャンプの入門者向けの日帰り自然体験事業として、自然クラフトなどを実施した。	体験活動等	共催
六所であそぼう	4月３０日 7月9日 8月２６日 １０月２２日 １２月１７日	４１人 ３８人 ４１人 ４１人 ３９人	小学校低中学年を対象とした日帰り自然体験事業。火起こし、弓矢作り、沢あそび、焼きいも、クリスマス準備などを実施した。	体験活動等	共催
大学連携事業	8月１６日 8月１１日 ～１３日 １２月2日 ～3日 １２月２３日 ～２４日	6人 6人 １３人 １３人	自然体験活動や社会教育士資格取得を目指す大学生の実習(県内の大学と共同事業)をサポートした。 今回は１２月開催の「親子自然体験塾」をサポートした。	体験活動等	自主
キャンプスタッフトレーニングキャンプ	5月１４日 7月1日 ～2日 9月3日 １０月2日 1月１３日 ～１４日	３１人 ２５人 １９人 ２２人 ２１人	登録キャンプスタッフに必要な知識や技能を獲得するとともに、活動に対する意欲の向上を図るため、プログラムの計画立案などの研修を行った。	講座、セミナー、育成	共催
連携事業 アウトリーチ講座 応援アウトドア	１１月２６日 (モリコロ) 1月１３日 (浄水北小)	５７人 ２６人	他施設を会場に、当センターのプログラムやノウハウを活用した。モリコロパークでクラフト体験、浄水北小学校でたき火体験などを実施した。	体験活動等	自主
キャンプスタッフプログラム研修会	7月２２日 8月３１日 2月4日	5人 5人 7人	共催事業のサポートをする大学生を対象とし、「キッズキャンプ」などの事前研修を行った	講座、セミナー、育成	共催
【新】 保護者のための 野外活動体験会	2月4日	１２人	アウトドア初心者の保護者を対象とした機会の提供。家族交流支援事業に向けて、ダッチオーブンを使った料理に挑戦した。	体験活動等	自主

親子自然体験塾	7月２９日 ～３０日 １２月２３日 ～２４日 2月１０日 ～１１日	３８人 ３０人 ２１人	家族で同じテーマ（草木染・しめ縄作り・もちつきなど）に取り組むことで、家族の絆を深めるともに、参加家族間の交流を促進した。	体験活動等	共催
キッズキャンプ	2月１８日	２７人	大学生が事前研修を経て、共同で小学校中学年から中学生に向けた日帰り事業を運営。冒険オリエンテーリングを行った。	体験活動等	共催
キャンプ インストラクター 養成講習会	2月２３日 ～２５日	２２人	愛知県キャンプ協会と連携して野外活動の基礎的な知識や技能の実践的な講習を行い、野外活動を支援する指導者の養成に寄与した。	講座、セミナー、育成	共催
野外活動体験会 ふらっと六所山	１１月１９日 3月3日	４１人 ４１人	少年団体の引率者がプログラム立案の参考にしたり、本番が安全でスムーズに運営できるように実施した。参加者の野外センターへの理解を深め、長期的な利用者増加につながるようにプログラム体験や施設見学を行った。	講座、セミナー、育成	共催
家族で六所山 day	6月１１日 9月２４日 １１月１２日 １２月2日 1月7日 3月１０日	荒天中止 ５２人 １０人 ５６人 ６０人 ３４人	家族向けの日帰り自然体験事業で、家族で手軽に六所を楽しめるプログラムとして、アスレチック・自然観察・たき火体験・自作かまどで炊事などを実施した。	体験活動等	共催
六所山 キャンプクラブ	8月5日 ～6日 3月２４日	１６人 ８人	中学生から大学生まで対象の野外活動ステップアップ事業。登録キャンプスタッフとの交流・情報交換の場とし、キャンプ技術のレベルアップや指導者養成の入門編。宿泊と日帰りを１回ずつ実施した。	講座、セミナー、育成	自主
支援事業 野外活動体験塾	年３回	中止	不登校やひきこもり、障がいのある青少年の支援団体や保護者グループの野外活動を支援する。 ※機会なく中止	体験活動等	自主
育成事業 体験学習講座 団体支援事業	年３回	中止	青少年健全育成を目的に、野外センターの自然や里山環境を生かした体験活動型の講座、研修会をサポートする。 ※機会なく中止	体験活動等	自主
小中学校等 野外活動直接指導	通年	２７，７０８人	こども園、小中学校等の活動支援として、専門知識を有した職員が直接指導を実施した。	体験活動等	受託

合　計

事　業　総　合　計	１７事業	２９，０１４人	他に機会なく、２事業を中止した。

（４）利用実績

施　　設　　名	件　数(件)	人　数(人)	利　用　内　容
少年自然の家	２００	１５，７０６	宿泊研修等
青少年キャンプ場	３９５	２０，５１３	野外活動等
運動広場	１６	６，２３７	軽スポーツ等
資料館	２０	６８５	動植物標本・民芸資料の展示
多目的ホール	５６	３，４８５	軽スポーツ･雨天時等の活動等
研修室	３４	１，７６５	軽スポーツ･雨天時等の活動等
計	７２１	４８，３９１	

【産業文化センター（とよた科学体験館及び喜楽亭を含む）】

市民の文化活動や中心市街地活性化に向けた取組などの多様な利用者ニーズに対応し、多機能な複合施設としての特色を踏まえた施設運営を実施しました。

また、建築物等適正管理マニュアルに基づく自主点検を定期的に実施し、不具合箇所の早期発見、早期対応に努めました。更に施設の長寿命化・大規模改修工事計画などの課題に積極的に取り組み、市民にとって、より「安全」・「安心」・「快適」な施設の提供に努めました。

「とよた科学体験館」は、市の科学教育を担う中心施設として、幼児から青少年や高齢者までの幅広い市民が気軽に科学に触れる機会拡充に努めました。「科学を文化として楽しもうプロジェクト」を推進し、教育的な事業のみならず、誰もが新しい発見と驚きに出会い、日常の中の科学を楽しめる事業運営に取り組みました。

また、街中の文化的建造物（国の登録有形文化財）としての認知が高まった「喜楽亭」では、施設の特徴を生かした文化・伝統行事体験事業を実施しました。

（１）事業

とよた科学体験館では、天文・サイエンス・ものづくり事業の分野について、幅広い市民のニーズを考慮した多種多様な事業展開を図りました。

天文事業では、プラネタリウムのシステムを活用した特別プログラムを随時投映し、宇宙や星空への興味関心を深めました。また、天体望遠鏡を使って街中で気軽に天体を観望する「街中の星見会（まちぼし）」などの開催により、新たな顧客開拓とリピーターの獲得に努めました。

サイエンス事業では、「サイエンススクール」などの事業を通して、関連団体との連携強化を図り、「学習指導要領発展事業」などでは、理科の面白さや自ら考える楽しさを紹介し、科学好きの裾野拡大に努めました。また、「科学を文化として楽しもうプロジェクト」の一環として、最先端科学の研究者や注目度の高い技術分野の専門家を講師に招く「サイエンスセミナー」などを継続開催しました。

新たに自然科学に対して知的好奇心や探求心を育む事業として「自然科学体験教室」を開催しました。

喜楽亭では、「喜楽亭茶会」など文化体験事業と地域や家庭での節句行事の意味を学び、飾りやお供えを体験し、人間愛や親子愛を育む「喜楽亭　五節供展」を開催しました。

（２）施設運営

各種入居団体による複数の公共機能を有した複合施設の建物設備全体を包括的に維持管理し、管理経費の節減を図り、施設全体の連絡会議を定期的に開催し、情報共有を図りました。また、数年先に予定されている大規模改修工事に向けて積極的な提案・調整に努めました。更に中心市街地にある大型施設として、有料駐車場の管理や災害時の帰宅困難者対策への協力を行いました。

（3）事業一覧

※事業区分について：自主－当財団独自の事業、共催－豊田市との共催事業、
受託－豊田市から委託を受けて実施する事業

【青少年育成施設等を活用して、青少年の社会性と豊かな情操を養う機会と場を提供する事業】

ア 科学体験館事業

事　業　名	期　日	人　数	内　　容		事業区分
キッズ･ものづくりワンダーランド２０２３	5月２８日	１０２人	小学生の親子を対象に、クルマをテーマとしたワークショップを開催した（公益社団法人自動車技術会中部支部と連携）。	講座、セミナー、育成	自主
サイエンスセミナー	6月２５日	１４８人	「科学を文化として楽しもうプロジェクト」の一環として、田中康平氏を講師に招き、最新の恐竜研究についての講演会を開催した。	講座、セミナー、育成	受託
スペシャルサイエンスショー	5月5日 8月2日 ～4日	９４８人	大型連休期間と夏休み期間に外部講師による特別イベントを開催した。	体験活動等	受託
学習指導要領発展事業	7月１５日 8月１２日	２２人	小学４年生から６年生までを対象に、理科の学習指導要領の理解をより深めるためのワークショップを開催した。	講座、セミナー、育成	受託
親子天文教室	8月１９日	７４人	親子を対象に季節の星空や宇宙の話題をわかりやすく紹介するイベントを開催した。	体験活動等	受託
レッツ・エンジョイ・サイエンス	9月8日	９０人	「科学を文化として楽しもうプロジェクト」の一環として、豊田警察署を指導講師に迎え、子どもから大人まで楽しめる科学捜査ワークショップを開催した。	体験活動等	受託
実験観察研修会	9月１５日	２９人	顕微鏡の上手な使い方や安全な燃焼実験のための注意事項など、実験観察の方法をレクチャーし、理科学習の技術向上を図るための研修会を開催した。	講座、セミナー、育成	受託
【新】 自然科学体験教室	9月２３日 ～２４日	１２家族 ４０人	小学生親子を対象に、自然科学に対する知的好奇心や探求心を育むための宿泊観察教室を開催した。 ※１泊２日	体験活動等	自主

ものづくりフェスタ２０２３	１1月２6日	１０１人	ものづくりフェスタ実行委員会主催のイベントに実行委員の派遣とブースの出展協力をした。	体験活動等	自主
プラネタリウムコンサート	１２月２３日	２１１人	プラネタリウムの星空のもと、星座解説や山本直人氏（ob）と岩瀬貴浩氏（sns）の生演奏のコンサートを開催した。 ※２回公演	体験活動等	受託
【事業変更】 天文カメラマンが見た世界	1月２５日 2月1日	１０８人	シニア層などの平日にゆとりのある方を対象に、知的好奇心を満たす時間と癒やしの時間を提供する大人向け天文講座を開催した。	体験活動等	自主
サイエンスクラブ初級コース	6月3日 7月8日 9月9日 １0月２1日 １２月２日 1月１３日	２８２人	小学３・４年生向けに、年間を通して、科学全般に関する実験・科学工作の講座を開催した。※６回×２部（午前・午後）	講座、セミナー、育成	受託
サイエンスクラブ中級コース	6月１７日 7月1日 9月１６日 １０月7日 １１月２５日 １２月１６日	１４４人	小学５・６年生向けに、年間を通して、科学全般に関する科学実験を中心とした講座を開催した。	講座、セミナー、育成	受託
アストロクラブ初級コース	6月4日 8月6日 １０月1日 １１月5日 １２月3日 2月4日	２９４人	小学校４年生から６年生までを対象にした天文教室。天文の基礎知識や星座の見付け方などを学ぶ講座を開催した。	講座、セミナー、育成	受託
アストロクラブ中級コース	6月１１日 7月9日 9月１０日 １０月２２日 １２月１０日 2月１１日	１２０人	小学校５年生から中学生までを対象にした天文教室。望遠鏡等の活用の仕方を通して、天文の楽しみ方を学ぶ講座を開催した。	講座、セミナー、育成	受託
フィーチャリングプラネタリウム	１１月3日 １１月２５日 3月２日	１６６人	プラネタリウム１００周年、ウクライナのプラネタリウム解説者によるウクライナの星空や文化、「熟睡」テーマなどにフィーチャー（特集）したプラネタリウム投映事業を開催した。	体験活動等	受託
サイエンステラス	８月２６日 ～２７日 １１月２９日～ １２月２９日 3月１６日 ～１７日	２５４人	科学・ものづくりに関わる大学等の教育機関や団体・個人の科学的分野の活動紹介ブースを開設した。	体験活動等	受託

企画展	４月８日 ～６月２５日 ７月２１日 ～８月３１日 １２月１６日 ～３月１０日	―	天文・サイエンス・ものづくりに関連した企画展を開催した。	体験活動等	受託
街中の星見会 「まちぼし」	年１０回	３００人	天体望遠鏡を使って街中でも気軽に観測できる月や惑星を見る観望会を開催した。※5 回は天候不良等により中止	体験活動等	受託
出前天体観測会	年１２回	３４９人	小学校や交流館に出向き、天文の話や天体望遠鏡による観望会を開催した。※6 回は天候不良等により中止	体験活動等	受託
こども園アウトリーチ事業	通年	1,４７８人	こども園に出向き、園児に科学のふしぎをショー形式で紹介した。実験を通して楽しみながら科学への興味を深めた。 ※１９園	体験活動等	自主
ミニワークショップ	通年	１6,７７3人	短時間でできる科学的要素を取り入れた簡単な工作教室を開催した。	体験活動等	自主
プラネタリウム投映事業	通年	４1,２７７人	星空解説による本物の星空へのいざないと、迫力のある全天周シミュレーション映像体験を通じて天文や宇宙への興味・関心を深めた。一般・団体・学習などのニーズに対応した解説や全天周番組投映、シミュレーション映像投映を開催した。	体験活動等	受託
サイエンスショー	通年	１9,９９４人	一般・団体向けに、実験によって科学の原理を紹介する実験ショーを開催した。	体験活動等	受託
ワークショップ	通年	３９６人	主に小・中学生向けに科学やものづくりの楽しさを体験できる実験･工作教室を開催した。	講座、セミナー、育成	受託
サイエンススクール	通年	２８０人	中学・高校の科学部等を対象にした学習会を開催し、その成果発表の場として、サイエンスショー発表会（カーニバル）を開催した。	講座、セミナー、育成	受託
展示整備事業	通年	―	展示品の製作検討や既存の展示物の点検・修理を行うため、定期的に展示整備委員会を開催した。	体験活動等	受託

イ 産業文化センター事業

魅力拡大コラボ事業 （喜楽亭・産文）	5月7日 5月１４日 7月9日 9月１０日	３９０人	施設の魅力づくりのために、入居団体や文化団体と協力して、市民が気軽に文化に触れられる機会を提供した。	体験活動等	自主

ウ 喜楽亭事業

【新】 喜楽亭　五節供展 「親子で楽しむ節供飾り展」	6月１５日 ～２２日 8月１７日 ～２４日	３１０人	旧暦の子どもの節句(端午・七夕)に節句人形等の展示と飾り付けや行事食を体験し、行事の意味を学び、親子をはじめ、人と人との絆を深めた。	体験活動等	自主
喜楽亭茶会	5月7日 １１月１９日 3月3日	３５９人	茶友会と連携し、季節ごとに特色ある茶会や子どもによる茶会を開催した。	体験活動等	受託
【新】 喜楽亭　五節供展	１０月１９日 ～２６日 2月9日 ～１６日	２２４人	旧暦の重陽・人日の節句に節句人形等の展示と飾り付けや行事食を体験し、行事の意味を学び、人と人との絆を深めた。	体験活動等	受託

合　計

科学体験館　計	２７事業	８３，９８０人	
産業文化センター　計	１事業	３９０人	
喜楽亭　計	３事業	８９３人	
事業　総合計	３１事業	８５，２６３人	

（４）利用実績

施　設　名	件　数(件)	人　数(人)	利　用　内　容
小ホール	１８１	１９，０６０	講演会・発表会
多目的ホール	２８６	１８，３６８	展示会・研修会・パーティー等
プラネタリウム	７２２	４２，４３０	学習投映・一般投映等
サイエンスホール	３１１	１４５，４４９	学習見学・一般見学等
喜楽亭	１１３	４，３０２	茶会・講座等
その他	４，２８７	１３５，５８４	中日文化センター等
計	５，９００	３６５，１９３	

議題２

公益財団法人豊田市文化振興財団

令和６年度　事業計画書（青少年部抜粋版）

１　基本方針

（１）青少年の健全な育成の推進

ア　「第３次公益経営戦略ビジョン」の重点取組施策である「育成段階に応じた事業展開」、「多様な主体との共働の推進」及び「活躍機会の提供」を推進し、青少年の健全育成に取り組みます。

また、ＳＤＧｓの目標達成に向けて豊田市と連携した活動に取り組みます。

更に、新型コロナウイルス感染症の５類変更後も、これまでの経験や実績を生かして、感染拡大防止に柔軟に対応し、安全安心な施設運営と慎重な事業展開を図ります。

イ　青少年センターでは、事業再構築３年目にあたり、「若者の社会参加の促進」、「若者の自立支援」、「居場所づくり」及び「情報発信」を４本柱として推進し、事業を発展的につなげるための総括の年とし、事業成果の更なる上積みを図り、意欲ある若者を育てます。また、令和５年度に改修した１階サロンを、若者の活動・発表の場として積極的に活用します。

ウ　総合野外センターでは、豊田市子ども条例で子どもが豊かに育つ権利として自然に親しむことが保障されていることを特に意識して、自然環境の中での野外活動を通し、体験、学び、気づきの機会と場を提供して、青少年の健全な育成と指導者の技量向上支援に努めます。そのために山遊び初心者から冒険少年まで、それぞれの“わくわく”を満たす事業を実施します。

エ　産業文化センター（とよた科学体験館）では、誰もが新しい発見と驚きに出会い、科学を身近に感じ楽しめるよう、「科学を文化として楽しもうプロジェクト」事業を推進します。また、今後の大規模改修工事について、市と連携を密にして、市民や関係者にとってよりよい施設運営につながるよう具体的な計画の検討を進めます。

２　事業計画

（１）青少年育成施設等を活用して、青少年の社会性と豊かな情操を養う機会と場を提供する事業（定款第４条第５号事業）

子どもたちを取り巻く社会環境が大きく変化する中、青少年の健全な育成を図るためには、家庭、学校及び地域社会が連携を密にし、子どもたちの自立と社会参加を促す努力を重ねることが求められています。青少年育成施設等を活用して青少年の健やかな成長を育むため、様々な体験活動を実施し、あわせて自立支援・相談体制を強化し、青少年の社会性と豊かな情操を養う機会と場を提供します。

●青少年の健全育成を図るための機会の提供を行う事業

事業数　５９事業

社会参加バンク、活動支援事業、若者応援事業、種まき事業、若者によるまち

づくり提案事業、サークル・グループ文化祭　ほか（青少年センター）
六所山で泊まろう、親子自然体験塾、家族で六所山 day、保護者のための野外活動体験会、小中学校等の野外活動の直接指導　ほか（総合野外センター）
いろいろプラスネタリウム、サイエンスセミナー、自然科学体験教室、レッツ・エンジョイ・サイエンス　ほか（産業文化センター）

（２）青少年音楽団体の運営及び青少年団体に対する助言その他の支援を行う事業（定款第４条第６号事業）

青少年の健やかな成長を育むため、豊田市青少年音楽３団体、子ども会、ボーイスカウト、ガールスカウトなどの青少年団体の運営を側面的に支援し、活動の活性化をサポートします。

●青少年団体の育成支援を行う事業

事業数　３事業

豊田市青少年団体傷害互助会事業（青少年センター）
レクリエーション団体指導者派遣（青少年センター）
子ども会事務支援（青少年センター）

３　会議

青少年育成委員会

名　　称	期日	会　場	内　　容
第１回 青少年育成 委員会	５月	青少年センター 会議室	令和５年度事業報告について 令和６年度事業計画について 令和６年度モニタリング事業について 令和６年度青少年表彰について　ほか
第２回 青少年育成 委員会	９月		令和６年度モニタリング事業の評価について 令和７年度事業計画について　ほか
第３回 青少年育成 委員会	２月		令和６年度モニタリング事業の評価について 令和７年度事業計画について　ほか

４　令和６年度事業計画の附属明細書
【青少年センター】

令和４年度に見直しを実施した事業が３年目を迎えるため、４年目以降へ発展的につなげるための総括を実施します。

外部団体や民間事業者との共働など、これまで培ってきた当センターのネットワークを駆使し、様々なステークホルダーや豊田市の部署等と連携を強化することで、若者支援のハブ機能を担う施設を目指し、若者の幸福や成長を追求します。そのため、若者の社会参加や課題解決に向けた取組を支援し、若者や活動団体の積極的な自主活動を促進します。

また、青少年育成委員会の事業評価や利用者、参加者及び社会的な各ニーズ並びに SDGs の達成目標を意識した施設運営に努め、公共施設の社会的使命を追求します。

（１）事業

【若者の社会参加の促進】

若者が社会に関わる意識を育てるための事業を段階的かつ幅広く展開します。

２０代・３０代の若者には、自らの技量を使い自らの意思で挑戦する「まちづくり提案事業」や「サークル・グループ文化祭」、積極的に社会に関わる世代形成のため「学生交流塾」や「若者倶楽部」の事業を実施します。また、高校生・大学生が社会に接する機会としてボランティア事業を実施します。

【若者の自立支援】

教育格差による貧困の連鎖解消を目指す学習支援事業を愛知県教育委員会と連携して継続実施します。また、県との連携がない期間に、同様の学習支援事業を自主開催し、切れ目ない学習支援を実現します。更に若者の社会的自立を促す事業、若者たちの自主的な活動を幅広く PR する事業の支援をしていきます。

【居場所づくり】

令和５年度末に改修されたサロンや従来からの施設を活用し、個人単位の自主学習や自主練習、仲間同士の親睦など様々な若者のニーズに応えるために LINE を使った個人登録を推奨し、登録者に対して SNS で施設情報を素早く配信するなど利用者の満足度向上を目指します。

【情報発信】

ボランティアの募集や各種イベント・事業・フリー開放（空き部屋活用）など、若者に有益な情報を SNS、メールマガジン及びホームページを使って配信します。また、SNS で青少年センターの日常の様子を随時配信するなど、利用者に一層施設に対する親近感を抱かせる試みも行っていきます。

（２）施設運営

自主定期点検マニュアルに基づいた施設管理をはじめ、公共施設に必要な訓練の実施、施設使用料の市外倍額やキャッシュレス決済への素早い適応、利用者ニ

ーズを把握する利用者懇談会・アンケートの実施など、常に安全・安心・快適な利用環境の提供を目指し、効率的な管理運営でサービスの向上に努めます。また、災害や事故に備えた危機管理意識を持ち、異常の早期発見・早期対処など予防保全に努めるなど、日常管理の積み重ねを安定的で使いやすい施設運営につなげます。

（3）事業一覧

※事業区分について：自主－当財団独自の事業、共催－豊田市との共催事業、
受託－豊田市等から委託を受けて実施する事業

【青少年育成施設等を活用して、青少年の社会性と豊かな情操を養う機会と場を提供する事業】

事　業　名	期 日	人　数	内　容		事業区分
【社会参加】 インターンシップ事業	夏期・春期	延べ ５０人	豊田市及び近郊の高校・大学と連携し、就業体験等を通じて働くことや公共施設等への理解を深めるサポートを行う。 ※各回５人×５日間×２回	体験活動等	自主
【社会参加】 若者倶楽部	通年	４２０人 定例会 15 人×12 月×2 回 イベント 30 人×2 回	大学生世代以上の若者が集まり、まちづくり等の社会参加型事業の担い手として活躍する機会を提供する。	講座、セミナー、育成	共催
【社会参加】 学生交流塾	通年	３３０人 定例会 10 人×12 月×2 回 イベント 30 人×３回	高校生以上の学生、生徒が学校や学年の垣根を越えて集い、柔軟な発想と軽快なフットワークとチームワークで「まちづくり」、「ボランティア」、「企業コラボ」等の活動を展開し、学生同士の交流を図る。	体験活動等	共催
【社会参加】 社会参加バンク	通年	登録者数 ２００人	ボランティアや地域イベントのお手伝い等を希望する若者と若者の力を求める団体をつなぎ、若者の社会参加を促進する。	体験活動等	共催
【社会参加】 活動支援事業	通年	２，５００人	青少年団体、若者グループ、高校・大学のゼミ活動・クラブ活動等で、サロン等を活用して自己表現する機会を提供する。	体験活動等	共催
【自立支援】 若者応援事業	通年	延べ ２００人	未婚晩婚化やキャリア教育等若者の社会的課題の解決を図り、自立を促す事業を実施する。今年度よりSNSを活用した企業と若者をつなげるキャリア教育も取り入れる。	講座、セミナー、育成	共催
【情報発信】 とよた若者応援ネット『プラス』	通年	―	LINE を活用した個人登録者の登録データと SNS、メールマガジンを活用し、イベント情報、ボランティア情報、婚活情報等、青少年に有益な情報を数多く配信する。	その他	共催

【社会参加】 若者によるまちづくり 提案事業「WAKATTE」	5月～2月	―	豊田市の活性化や魅力発信に関する事業等の提案を募集する。審査を行い、１組の提案を採択する。提案実施支援金 50 万円	体験活動等	共催
【社会参加】 高校生 ボランティアスクール	5月～3月	延べ ８８０人	西三北地区公立高校及び市内私立高校と連携し、高校生がボランティア活動を行う機会を提供し、高校生の社会参加を促す。	講座、セミナー、育成	共催
【社会参加】 学生によるまちづくり 提案事業	6月～2月	延べ １６８人	学生がまちづくりに関する考え方や手法を学び、企画提案から実現への取組を伴走支援する。 ６団体（1 団体４人）×7回	講座、セミナー、育成	共催
【居場所づくり】 種まき事業	年3回	延べ ６０人	仲間づくり等若者に関する様々な講座・イベントを開催し、青少年センターを活動拠点として PR する。	講座、セミナー、育成	共催
【社会参加】 サークル・グループ 文化祭	1月	２，０００人 （内訳） 参加者 ２００人 来館者 １，８００人	青少年団体で組織する実行委員会が企画運営し、日頃の活動を広く市民へＰＲし、新規団体及び新メンバーの獲得につなげる機会とする。また、近隣大学・高校等の若者に広く参加を呼びかけ、利用促進の機会とする。	体験活動等	共催
【自立支援】 若者未来塾（若者・外国人未来応援事業）	通年 毎週水金曜 隔週土曜	延べ ２００人	学力格差による貧困の解消につなげるための学習支援事業。 高等学校卒業程度認定取得を目指した支援を行うとともに、成績不振の中高校生への支援も行う。	講座、セミナー、育成	受託
【居場所づくり】 学習・卓球等若者 開放事業	通年	２０，０００人	青少年に居場所を提供する事業。 空き室を自主学習や音楽・ダンス・演劇等の自主練習、仲間同士の親睦の場として活用するほか、定期的に卓球器具の貸出し（卓球開放）を行い憩いの機会を提供する。	施設の貸与	受託

【青少年音楽団体の運営及び青少年団体に対する助言その他の支援を行う事業】

事　業　名	期 日	人　数	内　　容		事業区分
豊田市青少年団体傷害互助会事業	通年	―	豊田市内の青少年団体の活動を支援するための互助会組織。 団体活動中に不慮の事故に遭いけがを負った場合の傷害見舞金の支給。被保険者の過失による活動中の死傷事故及び第三者の財物の損害に対する賠償保険金の支給 ※会員２５，０００人	その他	自主
豊田市文化振興財団大会（青少年表彰）	6月	―	青少年健全育成において優れた業績をあげた団体及び功労者を称え表彰する。 青少年育成功労賞、青少年育成奨励賞 ※各賞５個人又は団体	その他	自主
レクリエーション団体指導者派遣	通年	―	①レクリエーション指導者団体の情報交換（定例会）を行うとともに、子ども会等へ指導者を派遣し活動支援を行う。 ②青少年サークルをふれあいまつり等地域行事に派遣し、地域活動に若者の力を導入する。 ※①②計１００回	相談･助言	共催
子ども会事務支援	通年	―	豊田市子ども会育成連絡協議会の事務局として運営を支援し、子ども会活動の活性化に寄与する。	相談･助言	受託

合　計

事　業　総　合　計	１８事業	２７，００８人	

（４）利用予定

青少年センター

施　設　名	件　数	人　数	利　用　内　容
会議室・音楽室 ・軽運動室 等	７，０００	６２，０００	会議・研修・バンド練習・ダンス 等

その他

施　設　名	件　数	人　数	利　用　内　容
サロン・若者ルーム 等	―	３０，０００	たまり場等

総合計

総　合　計	７，０００	９２，０００	

【総合野外センター】

六所山とその周辺の自然環境の中で、キャンプ、ハイキングそして自然観察などの野外活動を通し、体験、学び、気づきの機会と場を提供して、青少年の健全な育成と指導者の技量向上支援に努めます。

小中学校、青少年団体をはじめ、家族や小グループにも気軽に六所の自然に親しむことができるよう、わかりやすく、安全で使いやすい施設を整備し、安心と達成感そして幸福感のある施設利用を提供します。

また、豊田市青少年育成施設条例の改正（令和６年４月１日施行予定）が予定され、青少年団体の日帰り利用や家族利用に係る利用拡大を図ります。

（１）事業

この施設の活動に精通した所員による事前打合せや直接指導を通して、教育課程に基づく小中学校の利用や、こども園、子ども会等の利用に込めた目的の達成を支援します。

野外活動を通して自然環境と向き合うことで､それを理解して｢自然との共生｣の大切さを感じる体験と、そこにある困難に仲間と協力して対処し「生きる力」を身に付ける体験を実施します。山遊び初心者から冒険少年まで、それぞれの“わくわく”を満たす事業展開をします。

（２）施設運営

熱中症、感染症といった近年高まった不安要素と従来からある野外活動の危険要素により、屋外での活動や集団での宿泊といった、施設利用をためらうケースが続いています。これらのマイナス要因への適切な対処を提案し、安心して施設を利用できる環境を整えます。

自然災害や老朽化により不安全、利用障害となる施設設備の営繕や保全作業に努め、安全で快適な施設利用を担保して、利用者の活動目的達成に貢献します。

子ども、大人、障がいのある方、外国から来られた方等、あらゆる人が安心して楽しく利用できる施設を目指します。

市の所管課をはじめ関連する主体との連携を密にし、“安全”、“安心”な野外活動施設を提供します。また、これら関連主体や利用団体の意見を取り入れ、負担が少なく、より効果的な活動プログラムの開発・提案と、施設の更なる有効活用を進めます。

（３）事業一覧

※事業区分について：自主－当財団独自の事業、共催－豊田市との共催事業、
受託－豊田市から委託を受けて実施する事業

【青少年育成施設等を活用して、青少年の社会性と豊かな情操を養う機会と場を提供する事業】

事　業　名	期 日	人　数	内　　容		事業区分
アウトリーチ講座 応援アウトドア	年３回	４５人	他施設を会場に、当センターのプログラムやノウハウを使ったミニ野外活動体験会の実施並びに他施設主催講座の実施及び企画協力に職員を講師として派遣する。 ※各回１５人	体験活動等	自主
野外活動体験塾	年３回	３０人	不登校やひきこもり、障がいのある青少年の支援団体や保護者グループの野外活動を支援する。 ※各回１０人	体験活動等	自主
体験学習講座 支援事業	年３回	４５人	青少年健全育成を目的に、野外センターの自然や里山環境を生かした体験活動型の講座、研修会をサポートする。 ※各回１５人	体験活動等	自主
大学連携事業	6月～3月	１０人	自然体験活動や社会教育士資格取得を目指す大学生の実習(県内の大学と共同事業)をサポートする。また実習で大学生が企画したイベントを、大学生と野外センターで共同開催する。	体験活動等	自主
六所山 キャンプクラブ	8月 3月	２０人	中学生から大学生までを対象とした野外活動ステップアップ事業。登録キャンプスタッフとの交流・情報交換の場とする。キャンプ技術のレベルアップや指導者養成の入門編として実施する。 ※各回１０人	講座、セミナー、育成	自主
保護者のための 野外活動体験会	2月	２０人	アウトドア初心者の保護者を対象とした機会の提供。家族交流支援事業に向けての参加意欲や少年自然体験交流事業への理解を育む。	体験活動等	自主
キャンプスタッフ プログラム研修会	年2回	１６人	共催事業のサポートをする大学生を対象とし、特に安全面を重視した事前研修を行う。 ※各回８人	講座、セミナー、育成	共催
ファミリーキャンプ	5月 8月 9月	１８９人	家族向けの施設開放事業として、フリーキャンプの場を提供する。 ※全７回　各回９家族・２７人	体験活動等	共催
キャンプスタッフ トレーニング キャンプ	5月 7月 9月 １０月 1月	４０人	登録キャンプスタッフに必要な知識や技能を獲得するとともに、野外活動に対する意欲の向上を図る。また、キャンプスタッフ間の連携を深める。　※全５回	講座、セミナー、育成	共催
六所であそぼう	4月 7月 １０月 1月	１７６人	小学校低中学年を対象とした日帰り自然体験事業を実施する。 ※全４回　各回４４人	体験活動等	共催

家族で六所山 day	6月 １１月 1月 3月	１４４人	家族向けの日帰り自然体験事業で、家族で手軽に六所を楽しめるプログラムを実施する。 野外センターへの理解を深め、事業全体の参加者増を目指す。 ※全４回　各回１２家族・３６人	体験活動等	共催
六所でキャンプ	5月 9月 １２月	１０８人	小学校中学年から中学生までを対象とした、1 泊 2 日の自然体験事業。 キャンプ体験を通して、野外活動の楽しさや難しさに向き合いながら、自主性や協調性を育む。 ※全３回　各回３６人	体験活動等	共催
親子自然体験塾	１０月 １２月	５４人	家族で同じテーマ（特に里山や自然に関する）に取り組むことで、家族の絆を深める。感動体験により、自然体験の有意性を体感する。 ※全２回　各回９家族・２７人	体験活動等	共催
野外活動体験会 ふらっと六所山	１１月 3月	１００人	施設見学やプログラム体験を通して、青少年団体の指導者がプログラム立案の参考とし、本番の運営を安全でスムーズに行えるようにする。参加者の野外センターへの理解を深め、長期的な利用者増加につながるように努める。 ※全２回　各回５０人	講座、セミナー、育成	共催
チャレンジキャンプ	8月	２４人	小学校中学年から中学生までに向けた、ステップアップ事業。2 泊 3 日のチャレンジに富んだプログラムにより、爽快感や達成感、仲間との連帯感を体感。野外活動への意欲を育む。　※全１回	体験活動等	共催
【新規】 Enjoy!　アウトドア	１２月	２０人	中学・高校生を対象とした、日帰り自然体験事業。アウトドアを楽しむ機会や仲間との出会いを提供する。キャンプスタッフ(大学生)との世代交流を図る。※全１回	体験活動等	共催
キャンプ インストラクター 養成講習会	2月	３０人	愛知県キャンプ協会と連携して野外活動の基礎的な知識や技能の実践的な講習を行い、野外活動を支援する指導者を養成する。 ※全１回	講座、セミナー、育成	共催
小中学校等 野外活動直接指導	通年	２５,０００人	こども園、小中学校、青少年団体等の活動支援として、専門知識を有した職員が直接指導を行う。	体験活動等	受託

合　計

事　業　総　合　計	１８事業	２６，０７１人	

（４）利用予定

施　設　名	件　数	人　数	利　用　内　容
自然の家	１８０	１５，０００	宿泊研修等
キャンプ場	３６０	１９，０００	野外活動等
運動広場	２０	６，０００	軽スポーツ等
資料館	２０	７００	動植物標本・民芸資料の展示
多目的ホール	５０	３，０００	軽スポーツ･雨天時等の活動等
研修室	２５	１，０００	軽スポーツ･雨天時等の活動等
計	６５５	４４，７００	

【産業文化センター（とよた科学体験館及び喜楽亭を含む。)】

市民の文化活動や中心市街地活性化に向けた取組などの多様な利用者ニーズに対応し、多機能な複合施設としての特色を踏まえた施設運営を目指します。

また、建築物等適正管理マニュアルに基づく自主点検を定期的に実施し、不具合箇所の早期発見、早期対応に努めます。更に施設の長寿命化・大規模改修工事計画に積極的に取り組み、市民にとって、より「安全」・「安心」・「快適」な施設の提供に注力します。

「とよた科学体験館」は、市の科学教育を担う中心施設として、幼児から青少年や高齢者までの多様な市民が気軽に科学に触れる機会拡充に努めます。教育的な事業のみならず、子どもの声を聴き、皆が体験することによって、誰もが新しい発見と驚きに出会い、日常の中で科学を楽しめる喜びの創出に取り組みます。

また、街中の文化的建造物（国の登録有形文化財）としての認知が高まった「喜楽亭」では、施設の特徴を生かした文化・伝統行事体験事業を実施します。

（１）事業

とよた科学体験館では、天文・サイエンス・ものづくり事業の分野について、多様な市民ニーズを考慮した多種多様な事業展開を図ります。

天文事業では、プラネタリウムで幅広い年代が楽しめる特別プログラムを随時投映し、宇宙や星空への興味関心を深めます。また、天体望遠鏡を使って街中で気軽に天体を観望する「街中の星見会（まちぼし)」などの開催により、新たな顧客開拓とリピーターの獲得に努めます。

サイエンス事業では、「サイエンススクール」などの事業を通して、関連団体との連携強化を図り、科学を身近に感じ楽しめるよう、最先端科学や注目度の高い分野の講師を招く「サイエンスセミナー」、地元企業の科学技術などを体験するワークショップ「レッツ・エンジョイ・サイエンス」を継続開催します。

新規事業として、より館内で楽しめるよう展示に職員が生解説をする「発見科学コーナー」、サイエンスショーの後に実際に現象を体験する「みんなでサイエンスショー」を開催します。

喜楽亭では、「喜楽亭茶会」など文化体験事業と地域や家庭での節句行事の意味を学び、飾りやお供えを体験し、人間愛や親子愛を育む「喜楽亭　五節供展」を開催します。

（２）施設運営

各種入居団体による複数の公共機能を有した複合施設の建物設備全体を包括的に維持管理し、管理経費の節減を図るとともに、施設全体の連絡会議を定期的に開催し、情報共有を図ります。また、大規模改修工事に向けて積極的な提案・調整に注力します。更に中心市街地にある大型施設として、有料駐車場の管理や災害時の帰宅困難者対策への協力を行います。

（3）事業一覧

※事業区分について：自主－当財団独自の事業、共催－豊田市との共催事業、
受託－豊田市から委託を受けて実施する事業

【青少年育成施設等を活用して、青少年の社会性と豊かな情操を養う機会と場を提供する事業】

ア 科学体験館事業

事　業　名	期　日	人　数	内　　容		事業区分
こども園アウトリーチ事業	通年	７５０人	こども園に出向き、園児に科学の不思議をショー形式で紹介する。実験を通して楽しみながら科学への興味を深める。 ※５０人×１５園	体験活動等	自主
ミニワークショップ	通年	15，000人	短時間でできる科学的要素を取り入れた簡単な工作教室を開催する。	体験活動等	自主
自然科学体験教室	9月１４日 9月１５日	４０人	小学生親子を対象に、自然科学に対する知的好奇心や探求心を育むための宿泊観察教室を開催する。 ※親子１２組（1泊2日）	体験活動等	自主
ものづくりフェスタ２０２４	10月27日	１２０人	ものづくりフェスタ実行委員会主催のイベントに実行委員の派遣とブースの出展協力をする。	体験活動等	自主
プラネタリウム投映事業	通年	30，000人	星空解説による本物の星空へのいざないと、迫力のある全天周シミュレーション映像体験を通じて天文や宇宙への興味・関心を深める。一般・団体・学習などのニーズに対応した解説や全天周番組投映、シミュレーション映像投映を開催する。	体験活動等	受託
サイエンスショー	通年	15，000人	一般・団体向けに、実験によって科学の原理を紹介する実験ショーを開催する。	体験活動等	受託
ワークショップ	通年	２００人	主に小・中学生向けに科学やものづくりの楽しさを体験できる実験･工作教室を開催する。 ※２０人×１０回	講座、セミナー、育成	受託
サイエンススクール	通年	２００人	中学・高校の科学部等を対象にした学習会を開催し、その成果発表の場として、サイエンスショー発表会（カーニバル）を開催する。	講座、セミナー、育成	受託

展示整備事業	通年	―	展示品の製作検討や既存の展示物の点検・修理を行うため、定期的に展示整備委員会を開催する。	体験活動等	受託
出前天体観測会	年１０回	５００人	小学校や交流館に出向き、天文の話や天体望遠鏡による観望会を開催する。 ※５０人×１０回	体験活動等	受託
街中の星見会 「まちぼし」	4月１３日 7月１３日 8月１０日 9月7日 １０月１２日 １１月9日 １２月7日 1月１１日 2月8日 3月8日	５００人	天体望遠鏡を使って街中でも気軽に観測できる月や惑星を見る観望会を開催する。 ※５０人×１０回	体験活動等	受託
サイエンスクラブ 初級コース	6月1日 7月１３日 9月7日 １０月２６日 １１月３０日 1月１８日	２８８人	小学３・４年生向けに、年間を通して、科学全般に関する実験・科学工作の講座を開催する。 ※２４人×６回×２部 （午前・午後）	講座、セミナー、育成	受託
サイエンスクラブ 中級コース	6月１５日 6月２９日 9月１４日 １０月5日 １１月２３日 １２月１４日	１４４人	小学５・６年生向けに、年間を通して、科学全般に関する科学実験を中心とした講座を開催する。 ※２４人×６回	講座、セミナー、育成	受託
アストロクラブ 初級コース	6月9日 7月１４日 １０月６日 １１月１７日 1月１２日 2月9日	３００人	小学校４年生から６年生までを対象にした天文教室。天文の基礎知識や星座の見付け方などを学ぶ講座を開催する。 ※５０人×６回	講座、セミナー、育成	受託
アストロクラブ 中級コース	6月１６日 7月２１日 9月８日 １０月１３日 １２月8日 1月１９日	１２０人	小学校５年生から中学生までを対象にした天文教室。望遠鏡等の活用の仕方を通して、天文の楽しみ方を学ぶ講座を開催する。 ※２０人×６回	講座、セミナー、育成	受託
いろいろプラスネタリウム（名称変更）	年３回	３６０人	プラネタリウムならではのテーマやタイムリーな話題を取り上げ、幅広い年代向けにライブ感を生かした特別投映を開催する。 ※１２０人×３回	体験活動等	受託
サイエンステラス	年２回	１２０人	科学・ものづくりに関わる大学等の教育機関や団体・個人の科学的分野の活動紹介ブースを開設する。	体験活動等	受託

企画展	年２回	―	天文・サイエンス・ものづくりに関連した企画展を開催する。	体験活動等	受託
スペシャルサイエンスショー	年２回	２８０人	春と秋の大型連休期間に外部講師による特別イベントを開催する。 ※７０人×２回×２日	体験活動等	受託
【新規】 発見科学コーナー	年２回	―	常設展示より質の高い体験学習を開催する。体験館ならではの物や職員による専門的な解説で当館の魅力を発信する。	体験活動等	受託
【新規】 みんなで！ サイエンスショー	年２回	２００人	サイエンスショー後に、ステージで動きや反応を楽しむことができる体験学習を提供する。	体験活動等	受託
学習指導要領発展事業	年１回	１５人	小学４年生から６年生までを対象に、理科の学習指導要領の理解をより深めるためのワークショップを開催する。	講座、セミナー、育成	受託
サイエンスセミナー	年１回	１５０人	「科学を文化として楽しもうプロジェクト」の一環として、最先端科学の研究者や注目度の高い技術分野の専門家を講師に招き、講演会を開催する。 （会場：小ホール予定）	講座、セミナー、育成	受託
親子天文教室	年１回	１００人	親子を対象に季節の星空や宇宙の話題をわかりやすく紹介するイベントを開催する。	体験活動等	受託
実験観察研修会	年１回	２０人	顕微鏡の上手な使い方や安全な燃焼実験のための注意事項など、実験観察の方法をレクチャーし、理科学習の技術向上を図るための研修会を開催する。	講座、セミナー、育成	受託
プラネタリウムコンサート	年１回	２４０人	プラネタリウムの星空のもと、星座解説やプロの音楽家の生演奏のコンサートを開催する。 ※１２０人×２回	体験活動等	受託
レッツ・エンジョイ・サイエンス	年１回	５０人	「科学を文化として楽しもうプロジェクト」の一環として、地元企業の科学技術やタイムリーな科学テーマに関する技術者を指導講師に迎え、子どもから大人まで楽しめるワークショップを開催する。 （会場：多目的ホール予定）	体験活動等	受託
【新規】 発展理科講座	年１回	１５人	多くの年代の市民が参加できる理科実験を使ったワークショップを開催する。	体験活動等	受託

イ 産業文化センター事業

魅力拡大コラボ事業 （喜楽亭・産文）	年3回	９０人	施設の魅力づくりのために、入居団体や文化団体と協力して、市民が気軽に文化に触れられる機会を提供する。	体験活動等	自主

ウ 喜楽亭事業

喜楽亭 旧暦五節供展	４月	２００人	旧暦の桃の節句(上巳)に節句人形等の展示と飾り付けや行事食を体験し、行事の意味を学び、親子をはじめ、人と人との絆を深める。	体験活動等	受託
喜楽亭茶会	5月5日 7月7日 3月2日	３６０人	茶友会と連携し、季節ごとに特色ある茶会や子どもによる茶会を開催する。	体験活動等	受託

合　計

とよた科学体験館　計	２８事業	６４，７１２人	
産業文化センター計	１事業	９０人	
喜楽亭　計	２事業	５６０人	
事業　総合計	３１事業	６５，３６２人	

（4）利用予定

施　設　名	件　数	人　数	利　用　内　容
小ホール	２００	２０，０００	講演会・発表会
多目的ホール	２７０	２０，０００	展示会・研修会・パーティー等
プラネタリウム	７５０	５０，０００	学習投映・一般投映等
サイエンスホール	３２０	１５０，０００	学習見学・一般見学等
喜楽亭	１５０	１０，０００	茶会・講座等
その他	４，４００	１５０，０００	中日文化センター等
計	６，０９０	４００，０００	

令和６年度　重点取組事業

1　青少年センター

（1）若者応援事業

●目的・内容

未婚晩婚化やキャリア教育等若者の社会的課題の解決を図り、自立を促す事業を実施する。今年度より SNS を活用した企業と若者をつなげるキャリア教育も取り入れる。

●期日・対象

通年／３９歳までの若者延べ２００名

（2）活動支援事業

●目的・内容

青少年団体、若者グループ、高校・大学のゼミ活動・クラブ活動等で、サロン等を活用して自己表現する機会を提供する。

●期日・対象

通年／３９歳までの若者延べ2,５００名

（3）種まき事業

●目的・内容

仲間づくり等若者に関する様々な講座・イベントを開催し、青少年センターを活動拠点として PR する。

●期日・対象

通年／３９歳までの若者延べ６０名

（4）学生によるまちづくり提案事業

●目的・内容

学生がまちづくりに関する考え方や手法を学び、企画提案から実現への取組を伴走支援する。

●期日・対象

６月～２月／学生延べ１６８名

（5）サークル・グループ文化祭

●目的・内容

青少年団体で組織する実行委員会が企画運営し、日頃の活動を広く市民へＰＲし、新規団体及び新メンバーの獲得につなげる機会とする。また、近隣大学・高校等の若者に広く参加を呼びかけ、利用促進の機会とする。

●期日・対象

１月／一般延べ２，０００名

2　野外センター

（1）六所でキャンプ【宿泊】

●目的・内容

1 泊 2 日のキャンプ体験を通して、野外活動の楽しさや難しさに向き合いながら、自主性と協調性を育む。

●期日・対象

年 3 回／小学校４年生～中学校３年生・各３６名

（2）チャレンジキャンプ【宿泊】

●目的・内容

2 泊 3 日のステップアップ事業。3 日間の時間を効果的に使ったチャレンジに富んだプログラムにより、爽快感や達成感、仲間との連帯感を体感する。野外活動への興味、取り組む意欲を育む。

●期日・対象

年１回／小学校４年生～中学校３年生・２４名

（3）Enjoy! アウトドア【日帰り】

●目的・内容

中学生・高校生の事業参加機会とアウトドア体験の場を提供する。キャンプスタッフ（大学生）との世代間交流も行い、アウトドアの魅力を体験と交流を通して体感し、野外活動への興味を深める。

●期日・対象

年１回／中学生・１０名

年１回／高校生・１０名

（4）親子自然体験塾【宿泊】

●目的・内容

自然体験を積み自然の良さを知る活動を通し、家族の大切さや協力の必要を体感する。季節ごとの野外活動を体験し、施設の魅力や楽しさを味わう。

●期日・対象

年 2 回／小中学校に在学する児童生徒とその家族・各 9 家族

（5）ファミリーキャンプ【日帰り、宿泊】

●目的・内容

家族向けのフリーキャンプ。アスレチック、天体観望などのオプションプログラムも用意し、家族で野外活動に親しむ機会を提供する。

●期日・対象

年４回　日帰り／小中学校に在学する児童生徒とその家族・各 9 家族

年３回　1 泊 2 日／　同上

3　産業文化センター

（1）サイエンスセミナー

●目的・内容

　最先端科学の研究者や注目度の高い技術分野の専門家を講師に招き、講演会を開催する。

●期日・対象

　8月１８日（日）小ホール／一般１５０名

（2）レッツ・エンジョイ・サイエンス

●目的・内容

　地元企業の科学技術やタイムリーな科学テーマに関するワークショップを開催する。※中部電力パワーグリッド㈱による電気ワークショップを予定

●期日・対象

　9月8日（日）多目的ホール／一般５０名

（3）みんなで！サイエンスショー

●目的・内容

　サイエンスショーの後に、ステージで動きや反応を楽しむことができる体験学習を実施する。

●期日・対象

　年2回／一般・各回１００名

（4）発展理科講座

●目的・内容

　多くの多様な市民が参加できる理科実験を使ったワークショップを開催する。

●期日・対象

　年1回／一般１５名

（5）いろいろプラスネタリウム（名称変更）

●目的・内容

　プラネタリウムならではのテーマやタイムリーな話題を取り上げ、幅広い年代向けにライブ感を生かした特別投影を開催する。

●期日・対象

　年3回／一般・各１２０名

議題４

令和６年度　豊田市文化振興財団　青少年表彰受賞者一覧

（５０音順）

【豊田青少年育成功労賞】（受賞枠は５者以内）
　おおむね１０年以上にわたる篤志奉仕活動により、豊田市の青少年健全育成に貢献し、優れた業績をあげた個人又は団体

① **岩月　幸雄**（いわつき　ゆきお）
　　７３歳　豊田市在住
② **成田　一彦**（なりた　かずひこ）
　　６２歳　豊田市在住
③ **深津　佐豊美**（ふかつ　さとみ）
　　５３歳　豊田市在住
④ **深見　和久**（ふかみ　かずひさ）
　　５３歳　豊田市在住
⑤ **福田　博**（ふくだ　ひろし）
　　７４歳　豊田市在住

（トータル　５４個人・１１団体）

【豊田青少年育成奨励賞】（受賞枠は５者以内）
　おおむね５年以上にわたる篤志奉仕活動により、豊田市の青少年健全育成に貢献し、優れた業績をあげ、将来が嘱望される個人又は団体

① **あさひ根っ子の会**（あさひねっこのかい）
　　平成２８年設立　豊田市活動拠点
② **Active　People**（アクティブ　ピープル）
　　平成３１年設立　豊田市活動拠点
③ **トヨタ自動車女子バレーボールチーム「サンピエナ」**
　（とよたじどうしゃじょしばれーぼーるちーむ「さんぴえな」）
　　昭和２５年設立　豊田市活動拠点
④ **羽根田　賢**（はねだ　すぐる）
　　３３歳　豊田市在住
⑤ **渡邉　和夫**（わたなべ　かずお）
　　７２歳　豊田市在住

（トータル　３０個人・１７団体）

表彰式　令和６年６月２日（日）午後３時　豊田市民文化会館　大ホール

岩月　幸雄

【受賞理由】
　平成１１年ボーイスカウト豊田第１団団委員長に就任し、団委員長として団の運営に尽力した。
　平成１８年ボーイスカウト豊田地区協議会副協議会長に就任、平成２２年ボーイスカウト豊田地区協議会協議会長に就任し、現在に至っている。
　ボーイスカウト豊田地区協議会協議会長として行政・議会との連携、地域社会とのつながりに尽力し、豊田地域でのスカウト運動の推進に貢献をした。

【主な功績】
●指導者歴

平成１１年（１９９９）	ボーイスカウト豊田第１団団委員長
令和３年（２０２１）	ボーイスカウト豊田第３９団副団委員長（～現在）

●地区役員歴

平成１８年（２００６）	ボーイスカウト豊田地区協議会　副協議会長
平成２２年（２０１０）	ボーイスカウト豊田地区協議会　協議会長（～現在）

●その他

平成１１年（１９９９）	ボーイスカウト講習会修了
平成１２年（２０００）	団委員研修所修了

ボーイスカウト日本連盟表彰
ボーイスカウト日本連盟功労章　かっこう章受章　令和４年５月２８日

成田　一彦

【受賞理由】

昭和４８年ボーイスカウト豊田第６団ボーイスカウト隊入隊、ベンチャースカウトまで活動をした。平成１５年豊田第６団団委員に就任、平成１８年豊田第６団ボーイスカウト隊隊長に就任、平成２４年豊田第３９団ボーイスカウト隊副長に就任、現在に至る。この間ボーイスカウト部門のスカウトの育成に貢献した豊田地区においては、令和元年指導者養成委員長就任、令和３年スカウト進歩委員長就任し、地区内の指導者養成及びスカウトの育成に尽力した。

【主な功績】

●スカウト歴

昭和４８年（１９７３）　ボーイスカウト豊田第６団ボーイスカウト隊入隊
昭和５２年（１９７７）　ボーイスカウト豊田第６団ベンチャースカウト隊入隊

●指導者歴

平成１５年（２００３）　ボーイスカウト豊田第６団団委員
平成１８年（２００６）　ボーイスカウト豊田第６団ボーイスカウト隊隊長
平成２４年（２０１２）　ボーイスカウト豊田第３９団ボーイスカウト隊副長

●地区役員歴

令和元年（２０１９）　ボーイスカウト豊田地区指導者養成委員長
令和３年（２０２１）　ボーイスカウト豊田地区スカウト進歩委員長
（～現在）

●その他

平成１８年（２００６）　ボーイスカウト講習会修了
平成２０年（２００８）　ウッドバッジ研修所ボーイスカウト課程修了
平成２３年（２０１１）　ウッドバッジ実修所ボーイスカウト課程修了

深津　佐豊美

【受賞理由】

平成２５年よりガールスカウト愛知県第６２団ブラウニーリーダーとして活動を開始する。現在もジュニアリーダーとしてスカウトの育成に尽力している。

平成２８年からガールスカウト三河北地区教育活動委員となり、平成３１年と翌年は、教育活動委員長を務め指導者の要として活躍した。令和２年からは、地区長として新型コロナウイルス感染症拡大時期の厳しい地区運営に尽力した。

さらに令和３年度は、地区５０周年記念事業総括責任者として周年事業を手がけ、ガールスカウト活動の発展に貢献をした。

【主な功績】

平成２５年（２０１３）　ガールスカウト愛知県第６２団ブラウニーリーダー
平成２７年（２０１５）　日本連盟主催全国シニア・レンジャーキャンプ引率リーダー
平成２８年（２０１６）　ガールスカウト三河北地区　教育活動委員
平成３１年（２０１９）　ガールスカウト三河北地区　教育活動委員長
〃　ガールスカウト愛知県第６２団　ジュニアリーダー
令和２年（２０２０）　ガールスカウト三河北地区　地区長
令和３年（２０２１）　ガールスカウト三河北地区　５０周年記念事業総括責任者

深見　和久

【受賞理由】

平成２１年から子ども会の小学校区会長、中学校区会長を経て、平成２３年度、豊田市子ども会育成連絡協議会の研修委員長に就任する。その後、平成２４年から副会長、平成２９年には会長を歴任し、平成３１年から上部役員として長きにわたり活動している。

これまでに、異年齢の集団遊び活動の企画立案や、単位子ども会の個人情報保護推進、ジュニアリーダー活動の改革等、子ども会の発展に寄与した。

【主な功績】

平成２１年（２００９）	単位子ども会会長　兼　小学校区会長
平成２２年（２０１０）	単位子ども会会長　兼　中学校（地区）区会長
平成２３年（２０１１）	豊田市子ども会育成連絡協議会　研修委員会委員長
平成２４年（２０１２）	豊田市子ども会育成連絡協議会　副会長（～平成２８年）
平成２９年（２０１７）	豊田市子ども会育成連絡協議会　会長（～平成３０年）
平成３１年（２０１９）	豊田市子ども会育成連絡協議会　上部役員（～現在）

●その他

子ども会における異年齢の集団遊び実現のため以下の活動に尽力した。

・水鉄砲バトル等、子ども会イベントの考案と普及
・市子連加盟単位子ども会に向けた個人情報保護法遵守の取組推進
・ジュニアリーダー活動の改革　ほか多岐にわたり貢献

福田　博

【受賞理由】

平成２年に、豊田市レクリエーション指導者クラブ設立と同時に会員となる。３０年以上にわたり、市内青少年対象のイベント・研修会・子ども会派遣事業等に尽力をしている。

平成７年からは、当クラブの役員、令和３年からは副会長として、その運営及び行事の企画・運営に積極的に携わり、クラブの運営に多大な貢献をした。

【主な功績】

昭和４５年（１９７０）	勤労センター「憩の家」向陽グループとしてレクリエーション活動（～昭和５５年）
昭和４８年（１９７３）	勤労センター「憩の家」での行事の企画担当で活動（～昭和５０年）
平成２年（１９９０）	豊田市レクリエーション指導者クラブ設立と同時に、会員に所属し活動（～現在）
平成７年（１９９５）	豊田市レクリエーション指導者クラブ役員として、会員の指導（～令和２年）
平成１１年（１９９９）	「ふれあいウオーク in 豊田」実行委員会のメンバーとして、企画・運営（～平成２１年）
平成１３年（２００１）	「豊田市竹トンボフェスティバル」の実行委員会企画委員として企画・運営（～平成２１年）
平成１４年（２００２）	あすて「小さな秋見つけたウオーク」実行委員会として企画・運営（～平成１９年）
平成１８年（２００６）	チャレンジ・ザ・ゲーム審判員として、県内に広くチャレンジ・ザ・ゲームを普及活動（～平成１９年）
平成２４年（２０１２）	愛知県レクリエーション協会より普及功労者表彰受賞
令和３年（２０２１）	豊田市レクリエーション指導者クラブ副会長として、クラブの経営活動（～令和４年）

●その他

豊田市レクリエーション指導者クラブ副会長時に「みんなで楽しく遊んじゃおう」「作って楽しもう！ハロウィン」等を運営する際、広く高校生や社会人にも門戸を広げ多くの方々にボランティアスタッフの機会を与えている。

あさひ根っ子の会

【受賞理由】

「あさひ根っ子の会」は、子ども達に身近な森林や森林資源に触れる機会を提供することで、ふるさとへの愛着を育み、旭地区の地域づくりの担い手を育てることを目的とした団体である。

主な活動は、旭地区のこども園・小中学校と連携し、全ての園児・児童・生徒を対象に、森の健全性の調査や間伐体験の実施など、授業の一環として活動している。このことにより、多くの子ども達が林育活動を通して森の豊かさに触れ、世代を超えた地域の人たちと交流することで、先人の知恵を学ぶことができ、人として成長できる。

山村地域の旭地区では、面積の約８０%を占める森林の荒廃が著しく、今後、地域の森の整備をいかに進めていくかが大きな課題となっており、当該団体の活動は、将来的な森づくりの担い手の育成による地域課題の解消につながるものであり、今後の活躍が期待される。

【主な功績】

平成２８年（２０１６）　設立

〃　小渡小学校・敷島小学校の児童を対象に授業の一環として、森の健康診断・間伐体験を実施（～現在）

〃　旭中学校の生徒を対象に授業の一環として、間伐体験を実施（～現在）

〃　森林資源の活用を啓発するポスターの標語と絵を小渡小学校・敷島小学校の児童から募集（～現在）

平成２９年（２０１７）　杉本こども園の園児を対象に木端を使っての工作を実施（～平成３０年）

平成３０年（２０１８）　とよしん育英財団表彰　教育文化奨励賞を受賞

〃　小渡小学校・敷島小学校・旭中学校の教員を対象に旭地区の環境について勉強会を実施

令和元年（２０１９）　当初、３年間の活動計画だったが、各学校からの強い要望により、活動を継続（～現在）

〃　杉本こども園の園児を対象に竹馬づくりを実施（～現在）

Active　People

【受賞理由】

　代表自身が青少年センター主催ユースクラブ（現若者倶楽部）のメンバーであったが、メンバーの要件である３９歳を超えたことをきっかけに設立を模索し、ユースクラブメンバーを中心に設立。

　「豊田市の魅力を味わいながらイベントを楽しむ」をテーマに、豊田市を中心に若い世代へ向けたイベントを企画運営している。また市内公共施設や福祉施設を中心に積極的に参加し、今後の活躍が期待される。

【主な功績】

平成３１年（２０１９）	４月　Active　People　設立
令和元年（２０１９）	６月～　毎月スポーツイベントを開催
〃	９～１０月　ラグビーワールドカップおもてなしイベント参加
令和２年（２０２０）	市内福祉施設、マルシェ等で「謎解きウオークラリー」開催（～現在）
令和３年（２０２１）	とよた男女共同参画センター「さんかくフェスタ」参加
〃	WE LOVE とよたフェスタ参加
〃	とよたつながる博に参加（～令和４年）
令和４年（２０２２）	夏休み工作体験教室を主催（ギャザ）
〃	竜神交流館主催事業「竜神キッズランド」に参加
〃	「親子ダンスフェスティバル」主催（カネヨシプレイス）
〃	豊田市民活動センター「縁 JOY フェスタ」に参加
〃	WE LOVE とよたフェスタ運営協力（令和５年も）
令和５年（２０２３）	エコフルタウン「マイタウンおいでん」にて運営・出展

トヨタ自動車女子バレーボールチーム「サンピエナ」

【受賞理由】

実業団トップスポーツを通じた産学官連携の機会づくりを目的に、青少年センターを拠点に活動している学生団体「とよた学生盛りあげ隊」の学生らと選手らが交流を始め、新チーム名考案や新ユニフォームデザインコンペを協同で行った。

さらに、新型コロナウイルス感染症により子どもたちのスポーツ環境も制限される中、末野原中学校と新チームマスコット考案をリモートワークで行い、猿投北交流館のふれあいまつりや松平地区の天下祭ボランティア協力など、競技の強化だけにとらわれない青少年の健全育成を精力的に行っており、今後の活躍が期待される。

【主な功績】

昭和２５年（１９５０）　チーム創部
平成３０年（２０１８）　とよた学生盛りあげ隊（学盛）との交流始まる
令和２年（２０２０）　学盛と協同で「サンピエナ」へチーム名改称
令和３年（２０２１）　末野原中とチームマスコットを考えるワークを実施
令和４年（２０２２）　学盛と協同し、一般公募によって「チームマスコット」作成
〃　同社・ビジョンデザイン部も参画し、企業スポーツのブランディングを学ぶワーキングを定期的に開催
〃　第１回サンピエナカップ開催
令和５年（２０２３）　学盛と共同し、一般公募によって「チームユニホーム」考案中
〃　ウェアメーカーも参画し、トップスポーツにおけるアクティベーションを学ぶワーキングを開催
〃　猿投北交流館ふれあいまつり参加

羽根田　賢

【受賞理由】

平成９年豊田第１６団ビーバースカウト隊に入隊後、カブスカウト隊・ボーイスカウト隊・ベンチャースカウト隊・ローバースカウト隊と積極的に活動に参加した。平成２４年より豊田第１６団ベンチャースカウト隊副長に就任以来、ベンチャー隊指導者を続け指導者研修にも積極的に参加し、ウッドバッジ実修所を平成２７年に修了、スカウトの育成に手腕を発揮した。豊田地区においては、令和元年７月より豊田地区副コミッショナーに就任し、ベンチャースカウト隊指導者の指導と若い指導者の牽引者として、今後の活躍が期待される。

【主な功績】

●スカウト歴

平成９年（１９９７）　ボーイスカウト豊田第１６団ビーバースカウト隊入隊
平成１１年（１９９９）　ボーイスカウト豊田第１６団カブスカウト隊入隊
平成１４年（２００２）　ボーイスカウト豊田第１６団ボーイスカウト隊入隊
平成１８年（２００６）　ボーイスカウト豊田第１６団ベンチャースカウト隊入隊
平成２２年（２０１０）　ボーイスカウト豊田第１６団ローバースカウト隊入隊

●指導者歴

平成２４年（２０１２）　ボーイスカウト豊田第１６団ベンチャースカウト隊副長
平成２８年（２０１６）　ボーイスカウト豊田第１６団ベンチャースカウト隊隊長（～現在）

●地区役員歴

令和元年（２０１９）　ボーイスカウト豊田地区副コミッショナー（～現在）

●その他

平成２２年（２０１０）　ボーイスカウト講習会修了
平成２３年（２０１１）　ウッドバッジ研修所ベンチャースカウト課程修了
平成２７年（２０１５）　ウッドバッジ実修所ベンチャースカウト課程修了

渡邉　和夫

【受賞理由】

平成２９年８月から県下で先駆けて実施した、愛知県教育委員会委託事業「若者・外国人未来応援事業」の立ち上げから参画し、高校中退者や中卒無業者、外国人の子ども等、就職やキャリアアップに不利な立場にある生徒らに、学習相談と学習支援、さらに自立支援を行った。

また、平成２８年から地域学校共働本部が寺部小学校で実施した学習支援も、指導員として青少年の学習支援を行った。

学習が進学や就労にも結びつけられるよう、高卒認定資格取得をサポートし、キャリアアップが必要な青少年の支援に長年貢献した。

【主な功績】

昭和４９年（１９７４）　愛知教育大学教育学部数学科卒業、豊田市立竜神中学校教諭
平成４年（１９９２）　豊田市教育研究所主事
平成１０年（１９９８）　豊田市短期海外派遣事業にてイギリス派遣
平成１３年（２００１）　愛知県教育委員会豊田教育事務所指導主事
平成１８年（２００６）　豊田市立則定小学校校長
平成２１年（２００９）　豊田市立梅坪小学校校長
平成２４年（２０１２）　名鉄学園杜若高等学校広報渉外担当
平成２８年（２０１６）　地域学校共働本部 寺部小学校 土曜学習 指導員（～令和元年）
平成２９年（２０１７）　愛知県教育委員会委託事業「若者・外国人未来応援事業」の学習支援及び学習相談員（～令和６年３月）
これまで、延べ２００名以上の青少年らを支援

●その他

豊声クラブ（男声合唱団）の副団長として小中学校８０校訪問
寺部雅楽：寺部八幡宮例大祭での演奏以外にも交流館祭などでの演奏や、小学生の龍笛講座を開き、平成３０年度とよしん育英財団教育文化奨励賞を受賞
あしたば学習クラブ：シルバー人材センター主催、元教員の会員が、小中学生を対象に学習指導を行う指導員として、家庭に事情を抱えた児童生徒の学習支援の指導を行う。